地すべり防止対策事業

人 経済 社会 環境

地すべり災害を防止し、国土の保全と県民の安全な生活環境を実現します。

点検調査状況

近年、異常気象による豪雨の増加に伴い、土砂災害発生の危険性が高まっています。そこで本事業では、地すべり防止区域において、パトロールなどの点検調査や傾斜計による地盤の動態観測、水位計による地下水の変動観測を行い、地すべりの兆候が確認された箇所に地すべり防止工事を実施しています。

また、本事業で整備した地すべり防止施設の日常管理や長寿命化対策により、機能を維持・回復し、災害を防止し安全な生活環境を守ります。

事例紹介

雄琴・上仰木Ⅵ期地区（大津市）

雄琴・上仰木Ⅵ期地区の対象である地すべり防止区域には、JR湖西線や湖西バイパス道路（国道161号）が通っていることに加え、宅地造成が進んでおり、地すべり防止の重要度が非常に高まっています。

本地区では、地すべりの要因となる地下水、地表水などを排除する抑制工（水抜きボーリング、集水井、排水路等）と、地すべり滑動の抑止を目的とする抑止工（擁壁、杭等）を組み合わせながら、地すべりを未然に防止する対策工事を行い、地域住民の安全な生活環境を守っています。

事 業 名／県営地すべり防止対策事業
（地すべり防止対策事業）
実施年度／令和5年度～令和14年度
総事業費／587,370千円
受益面積／400ha
事業内容／地すべり防止対策　1式
実施主体／大津・南部農業農村振興事務所

地すべり防止対策（水抜きボーリング工）

〈MEMO〉